

みつくら

令和 3年 5月15日 第338号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

やまなし園のやまなしを間伐

御所森東側にある宮澤賢治やまなし園のやまなしが近年枯れ始めたので果樹栽培農家の市川浜さんに見ていただいた。原因は日照不足だと教えられたので、4月6日に約半数の20本を間伐した。今年も4月25日には花が咲いたが、その数は例年より少なく従って実も少ない事が分かった。4月29日に岩手大学の田中成行准教授がこのやまなし園を訪れた際にもご教示をいただいている。石鳥谷賢治の会では、8月1日に第10回賢治やまなし祭を計画している。

自生花菖蒲園を手入れ

大瀬川の農村景観保全に取り組んでいる葛丸の農村環境を守る会(板垣幸夫会長、構成員235世帯372名)では、去る4月10日に大瀬川自生花菖蒲園の手入れを行った。目的は、枯れた茅株があると花菖蒲が咲いた時に、花の高さより枯れた茅の穂などが高いために景観を損なうことからその枯れた茅株を除去したものだ。この自生花菖蒲園は、尾平(おだいら・地名)の熊谷和彦さん、熊谷茂さん、菅原得之さん所有地合わせて1町1反歩に自生している花菖蒲群である。同会での今年度の保全活動としては他に、周辺の草刈や雑木の伐採、花巻市教育委員会と合同での株数調査、また、美しい花菖蒲が満開の頃に啓発活動として「野点の会」を計画している。

満開の桜を目指してウォーキング

毎月2回ウォーキングと軽スポーツを楽しむいきいきスポーツクラブ主催の展勝地ウォーキングが4月15日、会員18名が参加して開催され、大瀬川から板垣福子さんと熊谷レイ子さんが参加した。石鳥谷駅から北上駅まで往復電車を利用し、北上駅を起点にして、見事な桜並木が続く展勝地を目指し約3.2キロを歩いた。この日は天気もよく、到着後は丁度満開の桜を見ながら展望台のある男山で昼食をとった。

「翌日は雨だったので、一日早くて良かったです。ウォーキングの初めから終わりまで満開の桜を愛でながらの楽しい一日でした」と熊谷レイ子さんは感想を述べていた。

ドッキリする内容のチラシを配布

4月22日から5月5日まで大瀬川・片寄地区山火事予防協議会では今年も入山者へ山火事防止啓発のチラシを手渡した。この協議会は花巻市と紫波町の22の団体が構成されており平成9年5月2日に大瀬川から片寄にかけて312ヘクタールを焼失した山林火災の翌年に組織された。構成団体の大瀬川活性化会議は4月25日と5月3日に4名が早朝に活動した。チラシには「この山林は私有林を有しており二度の大きな山火事にあっています。被害額は十数億円を超えます。あなたにそれを支払えますか?あなたの土地・財産が他人のせいで消失することに堪えられますか?山林での火の取り扱いに絶対にやめて下さい!」と書かれ、かなり強い言葉で警告しており、読んだ人はドッキリする。昨年同期には200人近くが山菜取りや溪流釣りや当地に入山している。この啓発活動は地道だが貴重な森林資源を守る事に寄与している。

天満宮の清掃作業を行う

大瀬川第一老人クラブ(熊谷善志会長)は天満宮の春祭(4/29)と新嘗祭(11/23)が行われる前に長年清掃奉仕活動を行っている。今年も4月25日に9区2・3班の会員22名による清掃奉仕活動が行われた。当日は、倒木の危険から伐採が計画されているご神木を仰ぎながら、感染対策に配慮し境内清掃をおこなった。終了後は昨秋に引き続き熊谷会長の参拝に合わせてコロナ禍の早期収束と地域の平穏無事を祈った。一方、黒森神社の例大祭(9月)前には8区4班と9区1班の氏子による周辺の草刈りと参道・神社の清掃奉仕活動が行われ、9区1班の会員も氏子としてこれに参加している。

案内板「畑集落の証」の損傷発見する

4月30日、葛丸湖畔に立てられている畑集落の案内板「畑集落の証」に穴が空いているのが分かった。この案内板は、葛丸ダム建設のため湖底に沈んだかつての畑集落を後生に語り継ごうと、平成24年3月に大瀬川活性化会議が立てたもので、当時の大石花巻市長を招いて除幕をしたものであった。損傷調査のため、石鳥谷交番、大瀬川活性化会議そして山王海土地改良区など関係者7名が現場を確認したところ、穴は中心部より少し下の方に直径2.5cm、長さ4cmあった。調査に当たった石鳥谷交番署員は「安全、安心のために周辺のパトロールを強化します」と話している。

集落総会と作業安全講習会を開催

葛丸の農村環境を守る会(板垣幸夫会長)は5月2日に7区自治公民館で17名、3日には大瀬川振興センターで22名、

4日は稲豊公民館で12名が出席して集落総会を行なった。板垣会長から「今年度は役員の変更期でもあり、さらに市の監査で構成員に対し十分な説明をする様に指摘された為にコロナ禍でも開催した」と説明があった。続いて協議に入り、令和2年度の事業報告、収支決算と監査報告、令和3年度の事業計画案、収支予算案が承認された。役員改選では全員が留任する事で同じく承認された。総会終了後は作業安全講習会を開催し、エンジン式刈払い機を安全に操作する為のDVDを放映した。事務局からは、昨年県内で7件の作業中の事故があり1名の死亡者を出しているとの報告もあり、葛丸の農村環境を守る会では6月1日から畦畔の草刈りが始まるので、あらためて作業の安全第一を呼び掛けた。

天満宮御神木を伐採清祓

山祇神社は倒木の危険から天満宮のご神木を伐採するに先立ち、5月8日に直町清均宮司のもと伐採清祓(ばっさいきよはらい)の儀を天満宮で行った。出席者は、畠山正天満宮別当、熊谷安久責任役員、菅原正義責任役員、畠山勝榮責任役員、板垣正博総代長、菅原道義永久総代、菅原洋二監事、畠山孝二会計の役員8名。清祓は菅原洋二さんの「号鼓(ごうこ)」で始まり、宮司が「かけまくもかしこき いざなぎのおおかみたち、天満宮ご神木もろもろのまがごとつみけがれあらむをばはらえたまい きよめたまへとかしこみもまうす」と祝詞を奏上した。その後、ご神木に御神酒を注ぎ、塩で清めてご神木に宿るご神体のお祓いと伐採の安全を祈願した。このご神木は、大瀬川にある大木では2番目の太さであるが、同日菅原洋二さん達が巻き尺で測った結果、周囲は4m15cmであった。

人 事 (敬称略)

- 小学校地区長
 - 7区地区 菅原康文(向い竜家)
 - 8区地区 熊谷彩香(田屋家)
 - 9区地区 畠山牧子(惣助家)
- 中学校地区長
 - 7区地区 菅原千春(清五郎竜家)
 - 8区地区 玉山 敦(パーマヤ)
 - 9区地区 熊谷純一(善助家)
- 大瀬川地区自主防災連絡協議会
 - 会 長(9区) 高橋仁吉(新)
 - 副会長(7区) 菅原正義(新)
 - 副会長(8区) 菅原洋二(新)

大瀬川体育協会よりお知らせ

大瀬川体育協会の役員会で昨年に引き続きコロナ禍により、今年6月の地区民運動会も中止と決定。代案として、秋に別事業(現在未定)を行うと決定した。

この原紙は、平成29年4月に文字数を85字に増やして見やすいように編集したもの。